

2016年3月期 第2四半期 (2015年4月1日～2015年9月30日) 決算ご説明資料

決算発表日：2015年10月30日
IDEC株式会社
代表取締役会長兼社長 船木俊之
証券コード：6652



<http://jp.idec.com>

■ 1. 2016年3月期 第2四半期 連結業績概要	
■ 1.1 連結決算のポイント	P.3
■ 1.2 連結業績概要 <連結損益計算書>	P.4-6
■ 1.3 製品別・地域別売上状況	P.7-12
■ 1.4 連結業績概要 <連結貸借対照表>	P.13
■ 1.5 連結業績概要 <連結CF計算書>	P.14
■ 2. 2016年3月期 通期 連結業績予想	
■ 2.1 2016年3月期 配当状況	P.16
■ 2.2 2016年3月期 連結業績予想	P.17-18
■ 2.3 2016年3月期 事業方針	P.19
■ 2.4 IDECの歴史	P.20
■ 3. ご参考資料	
■ 3.1 売上高・営業利益率 四半期推移	P.22
■ 3.2 地域別売上高 四半期推移	P.23
■ 3.3 業界の動向	P.24

1. 2016年3月期 第2四半期 連結業績概要



1.1 連結決算のポイント

Think Automation and beyond...

売上	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上高 216億円 (前年同期比 +3.0%) - 日本、北米において、制御用操作スイッチや安全関連機器製品など、主力の制御機器製品が好調に推移 - 自動認識機器製品が伸長 - プログラマブルコントローラの売上が減少
利益	<ul style="list-style-type: none"> ■ 営業利益 15億円 (前年同期比 +10.3%) ■ 純利益<small>(親会社株主に帰属する四半期純利益)</small> 10億円 (前年同期比 △ 0.5%) - 増収効果などにより営業利益は前年同期比1.4億円増加 - 為替差損の計上などにより純利益は微減
配当	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1株当たり中間配当金 18円 (前年同期 15円) - 当初の1株当たり中間配当金予想17.5円から18円に決定 - 1株当たり年間配当金は36円の予想 (中間：18円、期末：18円)

1.2 連結業績概要<連結損益計算書> - 1

Think Automation and beyond...

2016年3月期 第2四半期累計 業績概要

売上高 216億 6千 1百万円 (前年同期比+ 3.0%)
 営業利益 15億 6千 6百万円 (前年同期比+10.3%)

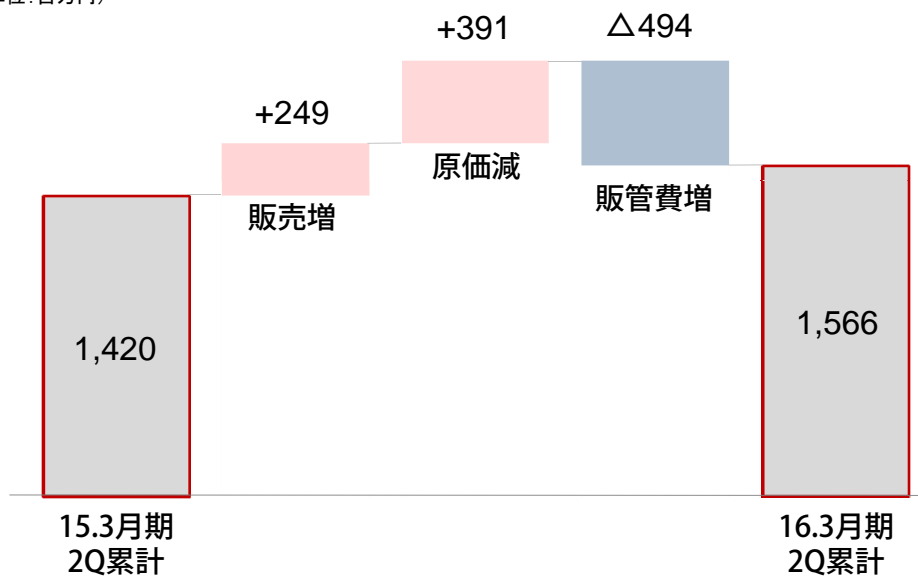
(単位：百万円)	16.3月期 2Q累計			15.3月期 2Q累計	
	実績	対売上比	前年同期比	実績	対売上比
売上高	21,661	100.0%	+3.0%	21,031	100.0%
売上総利益	8,964	41.4%	+7.7%	8,323	39.6%
販売費及び一般管理費	7,398	34.2%	+7.2%	6,903	32.8%
営業利益	1,566	7.2%	+10.3%	1,420	6.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,023	4.7%	△0.5%	1,029	4.9%
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	33.87円	-	△0.28円	34.15円	-
USDレート (円)	121.88円		+18.87円	103.01円	-

1.2 連結営業損益変動要因

Think Automation and beyond...

販管費が増加したものの、収益性の高い製品の増収効果もあり、営業利益は前年同期比で1.4億円増加。

(単位：百万円)



1.2 連結業績概要<連結損益計算書>-2

Think Automation and beyond...

2016年3月期 第2四半期 業績概要

前年同期比では、売上総利益率が改善したことから、営業利益率は向上。

(単位：百万円)	15.3月期						16.3月期			
	2Q (7月~9月)		3Q (10月~12月)		4Q (1月~3月)		1Q (4月~6月)		2Q (7月~9月)	
	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比
売上高	11,760	100.0%	10,681	100.0%	10,461	100.0%	10,492	100.0%	11,169	100.0%
売上総利益	4,419	37.6%	4,336	40.6%	4,457	42.6%	4,224	40.3%	4,740	42.4%
販売費及び一般管理費	3,529	30.0%	3,585	33.6%	3,718	35.5%	3,542	33.8%	3,855	34.5%
営業利益	890	7.6%	750	7.0%	739	7.1%	681	6.5%	884	7.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	837	7.1%	606	5.7%	460	4.4%	508	4.9%	514	4.6%
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	27.73円		20.07円		15.23円		16.84円		17.03円	

製品別売上状況

(単位：百万円)	16.3月期 2Q累計	15.3月期 2Q累計	前年 同期比
制御機器製品	12,313	10,931	+12.6%
制御装置および FAシステム製品	2,996	3,108	△3.6%
制御用周辺機器製品	2,660	2,605	+2.1%
防爆・防災関連機器製品	760	753	+0.8%
その他の製品	2,930	3,631	△19.3%
合計	21,661	21,031	+3.0%

制御機器製品

非常停止用押ボタンスイッチなど、主力の制御用操作スイッチや安全関連機器製品の売上が伸長。

制御装置およびFAシステム製品

自動認識機器製品は伸長したものの、プログラマブルコントローラなどの売上が減少。

制御用周辺機器製品

スイッチング電源などが堅調に推移。

防爆・防災関連機器製品

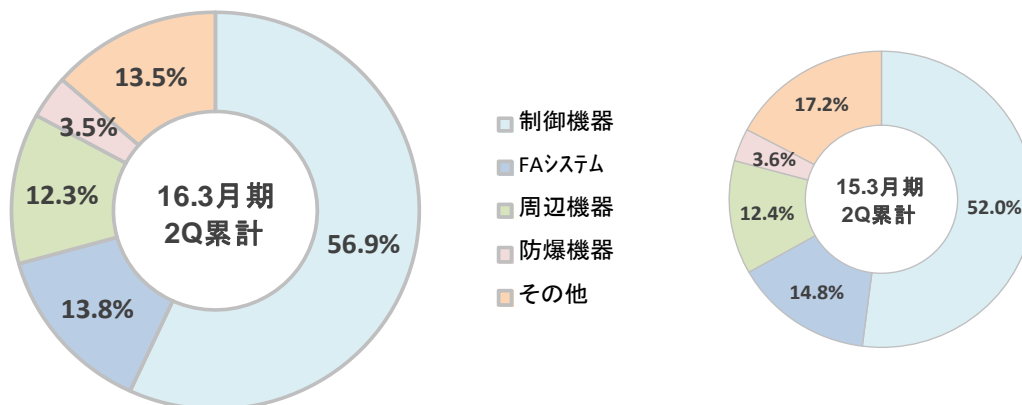
防爆用LED照明の売上が伸長したものの、ほぼ横ばい。

その他の製品

太陽光関連事業は好調だったものの、環境関連事業全体としては減少。

製品別売上高構成比

制御用操作スイッチや安全関連機器などの売上が増加し、主力の制御機器製品の売上比率が5%程度上昇。
一方その他製品は、環境関連事業の売上減少に伴い、売上比率が4%近く減少。



地域別売上状況

(単位：百万円)	16.3月期 2Q累計	15.3月期 2Q累計	前年 同期比
日 本	13,257	13,193	+0.5%
北 米	3,088	2,698	+14.4%
欧 州	982	1,021	△3.8%
アジア・ パシフィック	4,271	4,041	+5.7%
合 計	21,661	21,031	+3.0%

※その他の地域の数値は除く

国内 前年同期比 +0.5%

- 制御用操作スイッチや安全関連機器など主力製品が伸長したことに加え、自動認識機器製品の販売が伸長。

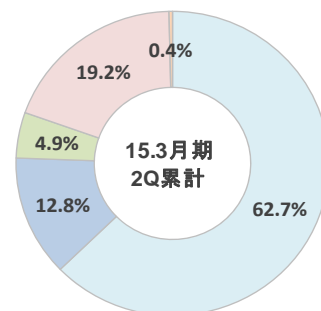
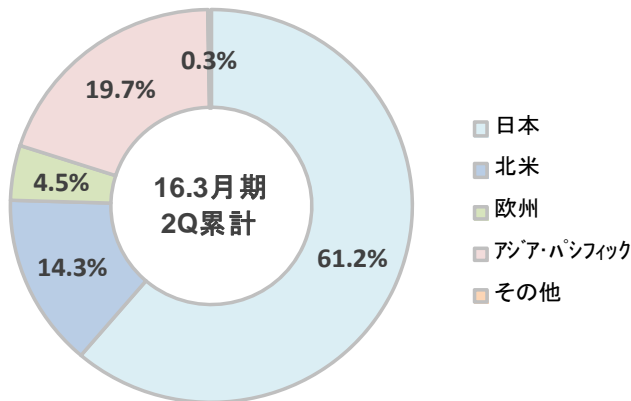
海外 前年同期比 +7.2%

- 北米やアジア地域においては、円安の影響もあり、制御用操作スイッチなどの制御機器製品などの売上が伸長。

欧州においては、プログラマブルコントローラが減少。

地域別売上高構成比

北米とアジア・パシフィック地域の売上比率が上昇。



製品群

制御機器製品		制御装置およびFAシステム製品		制御用周辺機器製品		防爆・防災関連機器製品	
							
制御用操作スイッチ	制御用リレー	プログラマブルコントローラ	プログラマブル表示器	スイッチング電源	端子台	タッチスイッチ付防爆表示器	防爆形操作盤
							
安全関連機器	産業用LED照明	自動認識機器		LED照明用電源	通信ターミナル	防爆用LED照明	

その他の製品		(環境エネルギー関連)	(セキュリティ関連製品)
			
パワーコンディショナ	メガソーラー	施設用LED照明	微細気泡生成装置
			
			図書館盗難防止システム

2016年3月期 第2四半期（7-9月）の主なトピックス

■ 制御盤内のスペースを削減する薄型電源を発売

コンパクトかつ取付性に優れたDINレール取付けタイプの薄形電源「PSSR-V形」を発売しました。

電源の設置場所や配線の都合に合わせたフレキシブルなレイアウトが可能で、制御盤内スペースの削減に貢献します。

小形化・薄形化が求められる各種制御盤をはじめ、工作機械、半導体製造装置など幅広い機械装置の組み込み用途として販売展開してまいります。



DINレール取付電源「PSSR-V形」

■ 耐環境性能に優れたプログラマブル表示器を発売

プログラマブル表示器「HG2G形ベーシックタイプ」の新機種2機種を発売しました。

画面の美しさなど表示器としての基本性能を大きく向上させるとともに、幅広い使用周囲温度をカバーし防水保護構造とするなど、厳しい使用条件に耐えうる耐環境性能を強化し、他社製品との差別化を図っています。



カラー



モノクロ

1.4 連結業績概要 <連結貸借対照表>

Think Automation and beyond...

2016年3月期 第2四半期 連結貸借対照表概要

■ 資産のポイント

現金及び預金が増加した一方で、棚卸資産や有形固定資産が減少したことなどにより、総資産は前期末比約1億円減少。

■ 負債のポイント

前受金や仕入債務が増加した一方で、借入金が減少したことなどにより、負債は前期末比約2億円減少。

■ 純資産のポイント

為替換算調整勘定が減少した一方で、利益剰余金が増加したことなどにより、純資産は前期末比約1億円増加。

(単位：百万円)

科目	16.3月期 第2四半期末	15.3月期末 (前会計年度末)	前会計年度末比 増減
流動資産	26,504	26,212	+292
固定資産	22,774	23,165	△391
流動負債	15,233	15,345	△111
固定負債	1,592	1,687	△94
純資産	32,452	32,345	+106
総資産	49,278	49,378	△99

1.5 連結業績概要 <連結CF計算書>

Think Automation and beyond...

2016年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書概要

■ 営業活動によるCF

太陽光関連ビジネスの推進により前受金が増加したことや、税金等調整前四半期純利益の計上などにより+27億円。

■ 投資活動によるCF

主に、固定資産の取得などにより△4億円。

■ 財務活動によるCF

主に、借入金の返済や配当金の支払いなどにより△14億円。

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー	16.3月期 2Q累計	15.3月期 2Q累計	前年同期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,779	243	+2,536
投資活動によるキャッシュ・フロー	△465	△770	+304
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	2,314	△526	+2,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,471	△299	△1,171
現金及び現金同等物の期末残高	8,746	7,096	+1,649
設備投資額	598	783	△184
減価償却費	740	787	△47

2. 2016年3月期 通期 連結業績予想

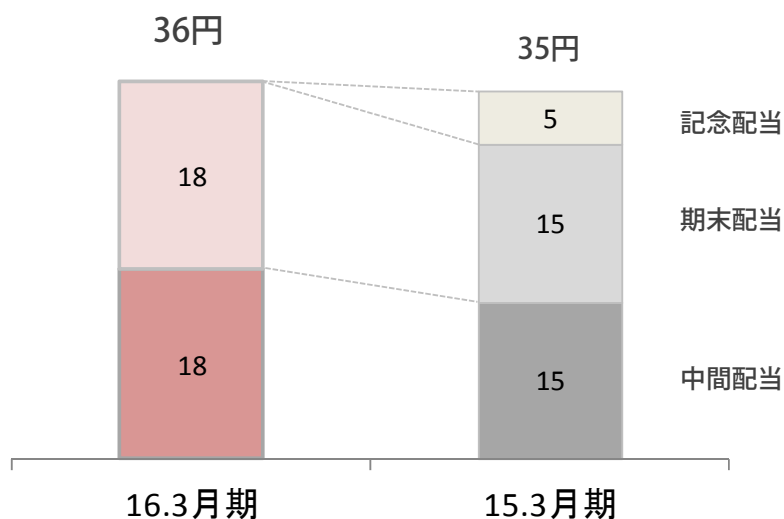


15

2.1 2016年3月期 配当の状況

Think Automation and beyond...

1株当たり中間配当金予想は17.5円でしたが18円（前年同期比3円増配）に決定。
1株当たり年間配当金は36円（前期比1円増配）を予想。



2.2 2016年3月期 連結業績予想

Think Automation and beyond...

売上高 440億円 (前期比+ 4.3%)
営業利益 35億円 (前期比+20.3%)

(単位：百万円)	16.3月期				15.3月期		
	2Q累計	通期			2Q累計	通期	
	実績	予想	対売上比	前期比	実績	実績	対売上比
売上高	21,661	44,000	100.0%	+4.3%	21,031	42,173	100.0%
売上総利益	8,964	18,500	42.0%	+8.1%	8,323	17,117	40.6%
販売費及び一般管理費	7,398	15,000	34.1%	+5.6%	6,903	14,207	33.7%
営業利益	1,566	3,500	8.0%	+20.3%	1,420	2,910	6.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,023	2,250	5.1%	+7.3%	1,029	2,096	5.0%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	33.87円	74.43円	—	+4.98円	34.15円	69.45円	—
USDレート(円)	121.88円	115.00円			103.01円	109.77円	

2.2 2016年3月期 連結業績予想

Think Automation and beyond...

(単位：百万円)	16.3月期		15.3月期	
	2Q累計実績	通期予想	2Q累計実績	通期実績
制御機器製品	12,313	23,700	10,931	22,572
制御装置およびFAシステム製品	2,996	6,700	3,108	6,162
制御用周辺機器製品	2,660	5,300	2,605	5,206
防爆・防災関連機器製品	760	1,650	753	1,605
その他の製品	2,930	6,650	3,631	6,627
合計	21,661	44,000	21,031	42,173
国内売上高	13,257	27,100	13,193	26,529
海外売上高	8,404	16,900	7,837	15,644
(海外比率)	(38.8%)	(38.4%)	(37.3%)	(37.1%)

■ 既存事業の収益性の向上・海外売上拡大

既存事業分野においては、顧客ニーズに基づく制御ソリューション展開を強化し、差別化によるシェア拡大、収益性向上を図っています。

海外市場においては、中国のソフトウェア開発会社の顧客対応力強化に取り組んでいるほか、タイでの生産、販売拠点の本格稼働を推進しています。



IDEC ASIA (THAILAND)

制御ソリューション事業強化

中国事業体制の強化

東南アジア市場開拓

■ 環境・エネルギー分野を中心とした新規事業拡大

新規事業分野では、太陽光発電関連の事業拡大に取り組んでおりますが、今後はより多様化した再生可能エネルギーの活用を目指し、HEMS (ホーム・エネルギー・マネジメント・システム) などのソリューションの提供も強化していきます。

また、自動認識機器市場での事業拡大に向けて、制御機器で培った技術を活かした自社製品の開発を行うなど、設計から販売まで一貫した体制で事業を拡大していきます。



HEMS
コントローラ

自動認識機器事業の拡大

環境・エネルギー事業の強化

農業ビジネスの本格展開

IDECは2015年11月に創業70周年を迎えます。

創業、そして制御機器の総合メーカーへ

1945年に和泉商会を創業し、1947年にはヒット製品となる金属箱開閉器の発売を開始しました。1950年代からは制御用操作スイッチや表示灯、端子台などの生産販売を開始し、制御機器の総合メーカーへと転換を図りました。



創業時の社屋と金属箱開閉器



ヒット製品となった
制御用操作スイッチ

海外進出、株式の上場

1970年代から海外生産拠点や販売拠点の展開を進め、グローバル化を図りました。1982年には大阪証券取引所市場第2部に株式を上場し、1990年に東京証券取引所、大阪証券取引所の市場第1部に指定替えとなりました。



初の海外拠点となる台湾和泉精機

和泉電気からIDECに



Think Automation and beyond...

創業60周年を迎えた2005年に、社名をIDEC株式会社へと変更し、コーポレートシンボルマークも一新しました。



100周年を目指して



植物工場



メガソーラー

2013年に完成した本社

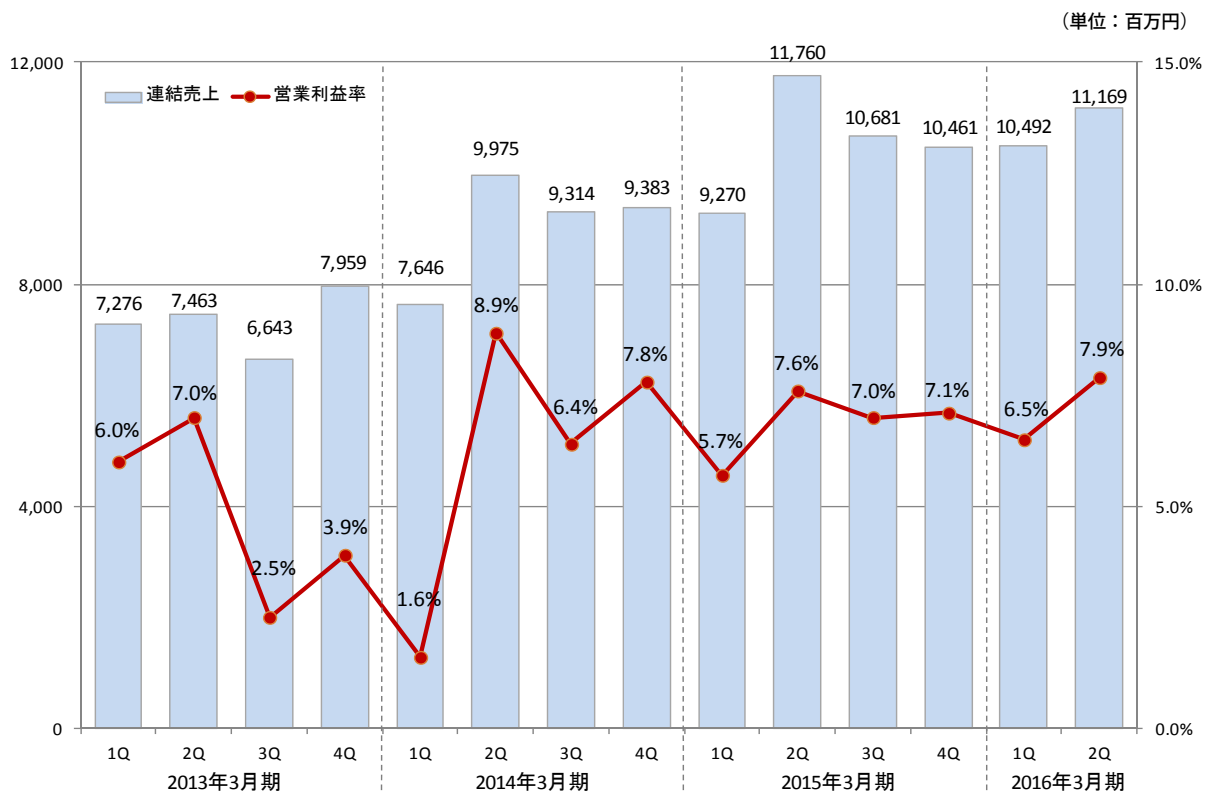
2015年11月に創業70周年を迎えます。IDECはこれからもオートメーションを考え、さらにその先へ・・・、ものづくりの未来を創造していきます。

3. ご参考資料



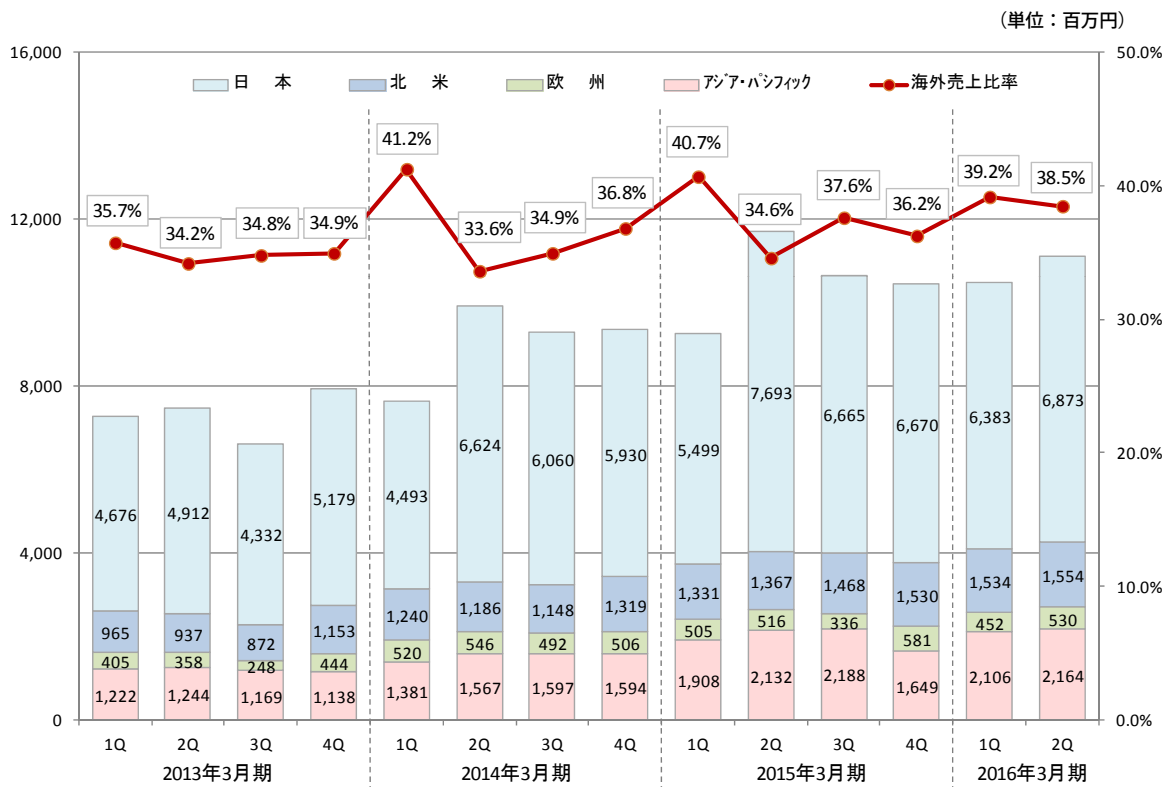
3.1 売上高・営業利益率 四半期推移

Think Automation and beyond...



3.2 地域別売上高 四半期推移

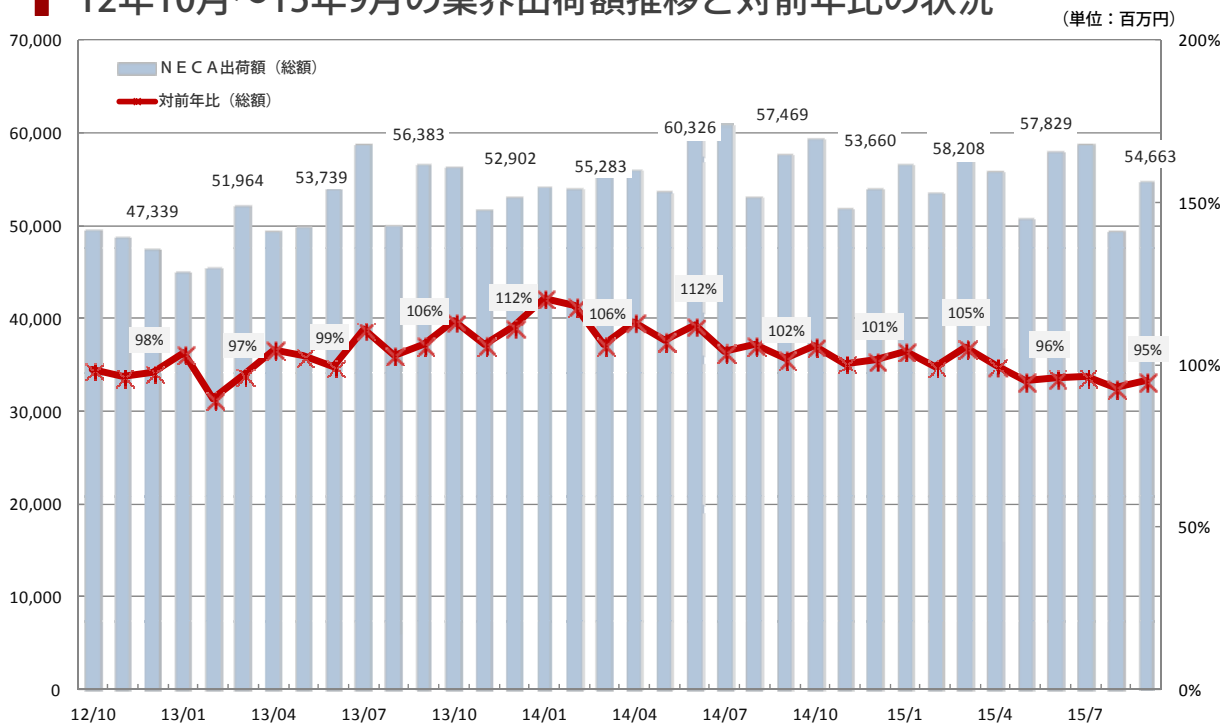
Think Automation and beyond...



3.3 業界の動向 (日本電気制御機器工業会(NECA)出荷データ推移)

Think Automation and beyond...

12年10月～15年9月の業界出荷額推移と対前年比の状況



※ NECA(日本電気制御機器工業会)の統計データによる。

※ 制御機器の業界団体であるNECAには、大手ではIDEC以外に、オムロン㈱、パナソニック㈱、アズビル㈱、富士電機機器制御㈱などが参加しており、NECAの統計は、それら企業の出荷実績をもとに集計されています。NECAにおける制御機器業界の市場規模は、約7.0千億円(年間)程度となっています。

この資料には一部当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。従いまして、実際の業績などは、今後さまざまな要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

IDEC株式会社
経営管理部 経営企画グループ
TEL : 06-6398-2550
FAX : 06-6398-2587
E-mail : y.ogawa@jp.idec.com

